

平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果(深谷中学校)

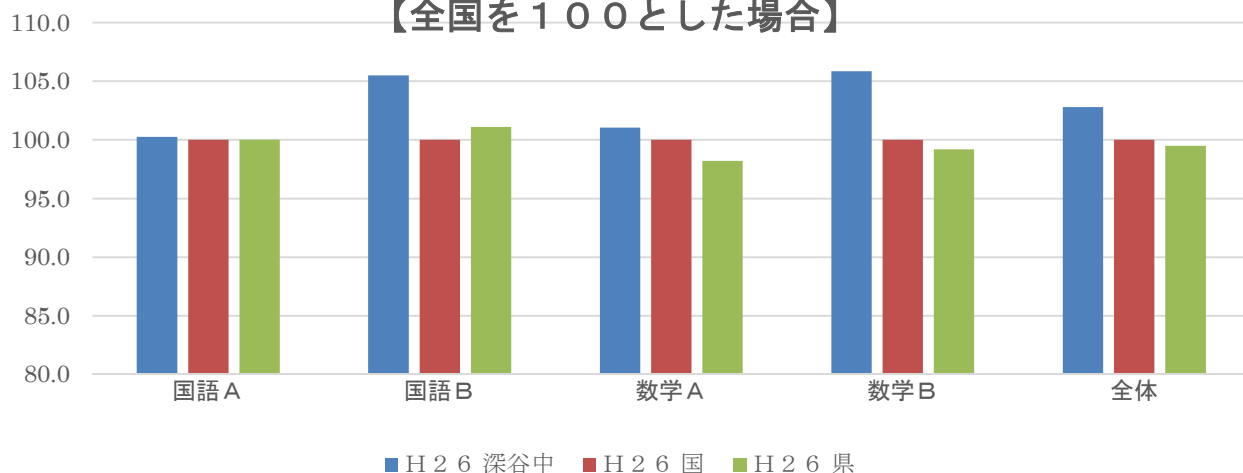
平均正答率

深谷中のデータは全国の平均正答率を100とした場合の割合

年度		国語A	国語B	数学A	数学B	全体
H26	深谷中	100.3	105.5	101.0	105.9	102.8
	国	79.4	51.0	67.4	59.8	64.4
	県	79.4	51.5	66.2	59.3	64.1

各教科の平均正答率

【全国を100とした場合】



質問紙調査より

※質問事項は74項目からの抜粋

※「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた値 (単位 %)

	質問事項	深谷中	国	県
生活習慣	・毎日朝食を食べている	95.9	93.5	94.5
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている	80.9	74.1	76.4
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている	96.0	92.1	92.8
	・学校のきまり(規則)を守っている	96.0	93.0	93.7
家庭での学習	・家で自分で計画を立てて勉強している	65.3	46.6	47.7
	・家で学校の宿題をしている	92.5	88.2	85.8
	・授業以外の1日当たりの勉強時間(含塾・家庭教師) 1時間以上	64.1	67.9	69.8
	・平日のテレビやビデオ、DVDの視聴時間 3時間以上	35.9	31.5	31.8
教科への関心	・国語の勉強は好きだ	70.5	58.2	57.2
	・国語の授業で学習したことは、将来、役に立つ	93.0	82.5	85.6
	・数学の勉強は好きだ	57.8	56.6	56.7
	・数学の授業で学習したことは、将来、役に立つ	81.5	71.4	73.2
その他	・将来の夢や目標をもっている	84.3	71.4	72.0
	・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある	97.2	93.9	94.6
	・学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある	93.6	84.5	86.9
	・先生は自分のよいところを認めてくれていると思う	92.5	74.1	75.8

深谷中の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

【国語】

- 全般的には全国平均を上回っており、良い結果である。
- 記述問題も比較的よくできている。
- 語彙力に不確かさがあり、選択式の問題にも誤答が見られる。

【数学】

- A 問題、B 問題ともに全国・県平均を上回っている。
- 特に「資料の活用」がよくできていた。
- 大小関係を不等式に表す問題、指数を含む計算のみ、平均を下回っていた。

【質問紙】

- 生活習慣については、すべての項目において全国平均を上回っている。深谷中の正答率が全国平均を上回っている要因の一つとして、規律正しい生活を送っていることがあげられる。
- その他の項目について、すべての項目において全国平均を上回っている。このことから、生徒が自己肯定感を持ち、前向きに学校生活を送っている様子がうかがえる。
- 平日の授業以外の学習時間が全国平均と比較して短い。その反面、テレビやビデオ、DVD の視聴時間、携帯電話、スマートフォンでの通話やメール、インターネットに費やす時間は全国平均を上回っている。この時間を家庭での学習時間にあてられるとよい。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・「話す」「書く」などの取り組みは、今まで通り継続していきます。
- ・生徒の興味や関心が高まる授業を、さらに工夫していきます。
- ・語彙力の定着のための小テストを行います。

【数学】

- ・不等式、指数計算の問題を、授業で取り上げて学び直しを行います。
- ・基本の計算問題が確実にできるように、毎回授業の初めに数題の計算問題に挑戦する時間を設けます。

【その他】

- ・携帯、スマートフォンは、家庭での学習時間の確保のためにも、家庭で使用についてのルールを決めて使いましょう。